



令和5年6月2日

(一財) 3.11 伝承ロード推進機構

## 「3.11 伝承ロード」・「写真で見る復興 10 年の歩み」パネル展の開催について

テーマ：「教訓が、いのちを救う。」

東日本大震災から 12 年を迎え、震災の記憶や経験を忘れずに後世に伝承するため、東日本大震災の実情と教訓等を映像やパネルにより紹介します。

また、被災地の被災前、被災直後、復興 10 年の状況について写真パネルにより紹介します。

※「3.11 伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取組や事業を行う活動です。その活動によって、防災に関する知識や意識を向上させるとともに、多くの人々との交流を促し、災害に強い社会の形成と地域の活性化に繋げるものです。

■期間 令和5年6月10日(土)～令和5年7月7日(金) (※月曜日休館日になります。)

■時間 9:30～17:00 (6月10日(土)は13:00から、7月7日(金)は12:00までになります。)

■場所 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館  
〒988-0246 宮城県気仙沼市波路上瀬向9番地1  
TEL 0226-28-9671

### ■内容

#### (1) パネル展

- ・教訓の伝承の取組
- ・近年の日本における災害発生の状況 (協力：東北地方整備局)
- ・被災前・被災直後・復興 10 年の航空写真 (宮城県気仙沼市、石巻市、南三陸町、女川町等)  
(協力：(一社) 東北地域づくり協会)

#### (2) 映像紹介

- ・映像による東日本大震災発災後の建設業界の活動

■主催等 主催 (一財) 3.11 伝承ロード推進機構  
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

協力 国土交通省東北地方整備局  
(一社) 東北地域づくり協会

《発表記者会 宮城県政記者会、気仙沼記者クラブ、建設専門紙》

### 問 合 せ 先

○一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構

宮城県仙台市青葉区本町三丁目 2-26

事業部長 佐藤 勝也 TEL 022-393-4261

## 展示パネルの例

# 教訓が、いのちを救う。

備えることで救える“いのち”があることを知ってもらう！

学ぶことで助かる“いのち”があることを知ってもらう！




一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構

## 3.11 伝承ロードとは

「3.11 伝承ロード」は、東日本大震災の教訓を学ぶため、被災地を訪問するネットワークを構築して、防災に関する様々な情報を収集・共有する。

東日本大震災の被災地には、震災の発生や震災を学ぶための遺構や復興施設が数多くありますが、その施設を「震災伝承ネットワーク」の拠点として活用し、被災地を訪問して学び、復興の現状や復興の取り組みを学ぶことが目的です。その結果として、被災地を訪問して学び、復興の現状や復興の取り組みを学ぶことが目的です。その結果として、被災地を訪問して学び、復興の現状や復興の取り組みを学ぶことが目的です。



一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構

## 我々が伝えたい基本メッセージ

### 備えることで救える“いのち”があったという事実

	<b>2度の津波被害を受けて整備された巨大堤防 (高さ10m、長さ2,600m)が 町民の死亡率を大幅に激減させた田老村</b>	
	<b>明治三陸地震 (明治29年)</b> 345戸が一軒残らず流され、人口2,248人のうち死者・行方不明者は1,867人	<b>死亡率 83%</b>
	<b>三陸沖地震 (昭和8年)</b> 559戸中500戸が流失、人口2,773人のうち死者・行方不明者は911人	<b>死亡率 33%</b>
	<b>東日本大震災 (平成23年)</b> 1,467棟中、全壊は979棟 人口4,302人のうち死者・行方不明者は166人	<b>死亡率 4%</b>

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構

# 災害列島 日本。

世界リスク報告書2016版によれば、世界における日本の自然災害リスクランキングはワースト4位。対応能力ランキングを踏まえた、総合リスクランキングは17位。



世界リスク報告書2016年版

①自然災害リスクランキング	③総合リスクランキング
ワースト 1位 バスアツ 2位 トンガ 3位 フィリピン 4位 日本 5位 コスタリカ	ワースト 17位 日本 18位 ベトナム 20位 ジャマイカ
②対応能力ランキング	119位 イタリア (G8各国は全てこれより下)

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構